A／見るからに大きい10トン車（右）　B／切実な想いの求人募集　C･D／倉庫内で出荷のときを待つ新台のパチンコ・パチスロ　E／積み込み作業には細心の注意を払う　F／フォークリフトもフル稼働　G／高くまで積まれる飾りパーツの空き箱

人手不足の高い壁

物流業界の2024年問題は、24年4月1日からドライバーの時間外労働に上限が設けられ、従来の輸送が難しくなることを指す。

時間外労働は、労働基準法が定める法定労働時間（1日8時間、1週40時間）を超える分の労働であり、いわゆる残業に相当するもの。運送業では、この時間外労働が年間960時間（月平均80時間）までとされた。ドライバーがこれを超えて働いた場合、事業者には6カ月以下の懲役または30万円以下の罰金が科される可能性がある。

野村総研はこの影響によって、国内の物流量が30年に15年比で35％減になると試算している。最たる原因は、ドライバーの恒常的な不足にある。

ドライバーの給与はひと昔前まで、一般的なサラリーマンよりも3割から5割増しと言われていた。拘束時間の長い運転業務が慢性的だとしても、トラックを走らせた分だけ稼げるという事実は、高収入を求める求職者を強く引き付けた。しかし時代の流れとともにその優位性は失われ、求職者が減少している。

関西地方に本社を置くある運送業者は、次のように話す。

「運転が好きでそれを仕事にしようという人は今、トラックよりもタクシーを選びます。大型免許よりも二種免許を取るほうが、ハードルが低いためです」

上限を超えて働くドライバーが他業界に流出するという懸念も聞こえてくる。残ったドライバーが〝ホワイト〟な労働環境下で、増加傾向にある物流をさばくには限度がある。人手不足の解消、運送の効率化が図られなければ、物流の停滞は避けられないのだ。

大手の取り組みは

輸送業界の大手であるヤマトホールディングス（東京都）は24年4月から、貨物専用の航空機「フレイター」を活用して24年問題に備える。旅客機を改修したフレイターの最大積載重量は28トン。リース契約で3機を調達し、日本航空グループのLCC航空会社スプリング・ジャパンが運航する。

商業運航は4月11日からの予定。東京から北九州、札幌、那覇までと、那覇から北九州までの4路線で、1日21便を最終計画とする。

同社は現段階ではトラック運送のほうが安価とする一方、「今後のドライバー不足などを踏まえると、これから輸送トラックのコストが上がっていくのは確実。そういった意味で差はだんだん縮まってくる」と話している。

同業大手の佐川急便（京都府）は24年4月から、宅配便など一部の届け出運賃を値上げする。値上げ幅は平均6％前後で、適用は4月1日付から。23年4月にも6年ぶりに運賃を改定したが、労働コストの上昇や労働環境の改善、顧客サービス品質の維持・向上を理由に、2年連続の値上げに踏み切った。

ECサイトやフリマアプリの隆盛で、物流ニーズは企業・個人を問わず全国に広がっている。このままでは「送料無料」や「時間指定配送」はおろか、通常運送すら滞ることは必至。消費者はコストがかかるサービスに、然るべき対価を支払うべきなのだ。

遊技業界特有の事情

収入以外の面でも企業に魅力があれば、ドライバーは集まるはずだ――。問題の緊急度が高いときほど、正論がむなしく聞こえるときはない。特に遊技機の運送は、業界事情から敬遠される傾向にある。

「面接に来た応募者に倉庫にある遊技機を試しに持ち上げてごらんと言うことがあるんですが、それまで乗り気だった応募者の態度が一変したことが何度もありました」（関東の運送業者）

倉庫内で出荷作業をしていた従業員は、次のように話す。

「私はもう歴が長いので、重さには慣れました。それよりも最近は、一部の遊技機1台につき1箱が付属する台飾りパーツのほうが気になりますね」

「20年前と比べると荷台の容積をくう分、同じトラックに積める遊技機台数は半分以下。工場に行く回数が増えたり、より大きなトラックを用意したりする必要が生じています」

「飾りパーツの空き箱は、緩衝材を含めて撤去時に必要です。強度が落ちるので折りたたむこともできず、保管場所がないホール様から別契約でお預かりする場合があります」

新台の納品スケジュールも業界特有だ。新台の一般的な流通過程はメーカーの工場を出た後、運送業者の倉庫で一時保管され、ホール納品のときを待つ。ピークは導入日前日。特に月初の日曜日に一極集中する。

「届け先であるホール様の軒数が多いほど、配送車と人手を大量に確保する必要があります。セキュリティの問題上、メーカー様の許可がなければ出荷日をずらすことはできません」（運送業者）

業界団体はこの状況を打開するために協議を続けている。運送業者の人手不足は一朝一夕に解消されるほど簡単ではない。こうした事情を踏まえて業界が一致団結しなければ、新台納品の遅延は現実味を帯びることになるのだ。 AJ

続きはデジタルブックでご覧いただけます。
詳細はこちら